

## 児童生徒の安全対策について

### ——— 情報通信を活用した安全対策 ———

児童生徒の安全対策の中でも、今回は情報通信技術を活用した周知・連絡体制に限定したものをテーマとしています。

### 町立学校の現状

学校に緊急事態が発生するなど、児童生徒の安全対策のため、保護者全員に周知が必要な場合、現在は主に2つの方法があります。

一つは、緊急電話連絡網を使い保護者から保護者へ電話で伝言するもの。

もう一つが、ほっとスルメール（※）を活用し、一斉に電子メールで配信するものです。

#### ※ほっとスルメールとは・・・

八戸市が、災害や犯罪に強い安全な地域づくりを目指し、おいらせ町を含む八戸市広域町村を対象として、インターネットを使用して安全・安心情報メールを配信するサービスです。

#### それぞれのメリットとデメリット

	メリット	デメリット
緊急電話連絡網	<ul style="list-style-type: none"><li>・スマートフォンやパソコンなどの端末を必要としない</li><li>・相手に伝わったかどうかはすぐわかる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・時間がかかりすぎる</li><li>・電話が繋がらないと連絡ができない</li><li>・個人情報保護の確保が必要</li></ul>
ほっとスルメール	<ul style="list-style-type: none"><li>・連絡が速い</li><li>・日時や場所などの詳細を文字で残すことができる</li><li>・開封確認で誰が見たか、見てないかわかる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・電子メールが使えない人には連絡がつかない</li><li>・学校にある指定のパソコンでないと配信できない</li></ul>

## どちらでも対応できない場合

例えば、放課後の部活動の時など、学校は下校したが交流センター等において、まだ帰宅していない場合、保護者に周知できても児童生徒に情報が伝わらないことがあります。

## 今年度の実例

昨年11月に八戸市で発生した、小学6年生女子児童が首を刃物で切り付けられた事件の際、町教委育委員会と各学校でどのような動きがあったか。

日時	状況	教育委員会・学校の対応
① 2019.11.12 16:40 頃	八戸市で小学6年生の女子児童が首を刃物で切り付けられるという事件が発生	
② 同日 17:00 頃	三沢警察署生活安全課から電話があり、町教委(学務課)に事件の一報が伝えられた。犯人はまだ捕まっていない。	
③ 同日 17:15 頃		学務課から町内8小中学校へ電話をかけ、下校や翌日の登校の際に警戒するよう促す。
④ 同日 17:30 頃		各学校から保護者へ「ほっとスルメール」により事件の概要が伝えられた。 このとき、木ノ下小学校では、犯人が捕まっていない状況を踏まえ、翌日の登校時は保護者が送迎するよう依頼した。
⑤同日 夜	犯人が逮捕される。	
⑥ 2019.11.13 6:30 頃		木ノ下小学校では昨日の保護者への依頼を取り消すため「ほっとスルメール」で通知しようとしたが、学校のパソコンがインターネットに接続できず、送迎の依頼を取り消すことができなかった。
⑦ 同日		「なぜ送迎の依頼を取り消さないのか」という苦情が数件学校へ寄せられた。

## 問題点

- その1 前ページ④の時点で、犯人が捕まっていないにもかかわらず、スポーツや部活動中の児童生徒には連絡が伝わらない。また、一部のテレビニュースで伝えられたものの、それを見ていない多くの町民が事件と犯人が捕まっていないという現状を知らずにいたこと。
- その2 前ページ⑥で、木ノ下小学校のパソコンがインターネットに接続できず、送迎が不要であるという保護者への周知ができなかった。では、なぜ学校のパソコンがインターネットに接続できなかったのか。学校が「ほっとスルメール」を利用するには、役場のネットワーク環境を利用してインターネットに接続する必要があり、そのパソコンが各校に1台ずつあるが、そのパソコンの接続にシステム上の不具合が起きた。

## 問題を解決する方法

- その1 このケースでは、学校と自宅の間にいる児童生徒や町民に一早く情報を提供するため、近隣で発生し犯人が捕まっていない状況を踏まえると、防災行政用無線を使い、町内全体に周知を図る必要があったと考える。
- その2 今回インターネットに接続できなかったという事態は稀に起こった不具合ではないということ。アクセス3～4回に1回程度は不具合が発生している状況であり、早急な対応が必要と考える。ほっとスルメールで配信した際、誰がメールを見たか確認できるようなシステムになっているが、インターネットに接続できなければそれができないため、周知ができたかどうか確認できない。

## その他考えられる問題

現状の運用方法において考えられる他の問題としては、教育委員会(学務課)と学校で使用できるインターネット接続ライセンス数の問題がある。

現在、8つの小中学校と学務課で接続できるライセンスは9つであり、各校に3台(校長、事務、その他)あるパソコンがすべて接続した場合、3校で9つ使用することとなり、他の学校は接続できないこととなる。

これを解消するためには、ライセンス数の増と、各校1つに限定した運用方法の見直しが必要である。

## 将来的に検討が必要な安全対策

通学路及び学校周辺の安全対策として、近年、防犯カメラを設置する学校が増えている。児童生徒を狙った犯罪も多く、設置による犯罪抑止効果も高いと考えられるため、今後検討する必要がある。